

留守番電話で 働き方が変わる



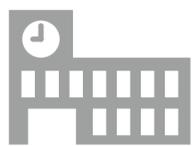
静岡県での事例

※夕方18時以降、学校の受付電話を留守番電話に設定。



F市
A小学校の場合

・月間平均残業時間が約20時間減少



F市
B中学校の場合

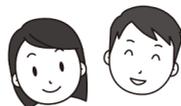
・持ち帰り仕事が20%から10.3%に減少

未来の学校「夢」プロジェクトの取り組み

静岡県では、「教員の多忙化解消を通じた勤務環境の改善」を教育行政の最重要課題に設定。平成28年から3カ年計画にわたる「未来の学校『夢』プロジェクト」を立ち上げました。これは、県内の4小中学校をモデル校に指定し、「校務の整理」と「教職員の意識改革」をめざすものです。留守番電話の導入はその一環で、残業時間の短縮、作業効率の向上など着実に成果が現れています。

留守番電話を設定し、18時以降仕事に集中できる環境を整備！

【教員の声】



・電話の音が鳴らないと「かかってきているのに出ない」という心苦しきから解放される。

【保護者の声】



・決められた時間に対応してもらおうほうがかけやすいし、スムーズ。
・先生の勤務時間を意識すると、連絡する内容も最小限のことだけ伝えようと思う。必要なら18時前にかけてほしい。

出典：株式会社ワーク・ライフバランス